	事業所名	放課後等デイナ	ナービス	はねる	Ь	3	支援プログラム	、(参考様式)	作成日	令和7 年	3 月	1 日
法人(事業所)理念		私たちのKPI(重要業績評価指標)は、ご利用くださるお子様たちの笑顔です。それを達成するための最重要のファクターは、お子様たちに直接寄り添う職員の笑顔だと考え働きやすさを 全力でサポートして参ります。そして、ご家族様との親密な連携を基本に据え、地域社会にお子様たちの明るい笑顔の輪を広げていく事、これが私たちの事業目的です。										
支援方針		お子様たちが自ら考え、自分で決めて果敢に挑戦する力を育むことに重点をおいています。日々の小さな成功、時には失敗を繰り返す中で挑戦する楽しさを体感していただき、その経験 から失敗を恐れずにさらに大きな課題へと挑む勇気を身に着けていただきたいと思います。										
	営業時間		10	時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支援内容										
	健康・生活	来所時の検温等健康状態のチェック、手洗いの徹底。 おやつ時間は落ち着いてきちんと座って食べること。前後の手洗い、後片付け等の習慣化を指導して参ります。										
本人支援	運動・感覚	日々様々な療育メニューを用意しています。当日の参加者の状態を考慮し、本人たちの希望もお聞きするなど意欲を引き出し楽しく進んで行うようサポートしていきます。 主なメニューはリズム体操、トランポリン運動、サーキット運動、お菓子作り等です。										
	認知・行動	季節行事にちなんでの製作活動、協力しての貼り絵作り等大型作品制作、レゴブロック、カードゲームなどの認知力。知育あそびなどの手先のトレーニング、図鑑などを使っての新たな 興味の発見など、様々な事への関心を引き出し協調性も併せて育んで参ります。										
	言語コミュニケーション	集団ゲーム遊び、順番待ちしながらの遊具使用遊びなどを通してルールの理解,自己主張や思いやり、傾聴等のコミュニケーション能力の開発向上に努めます。また、宿題や課題に自発的 に取り組むよう促し、わからない問題などは付き添いきめ細かく対応いたします。										
	人間関係 社会性	多機能型事業所の特徴を活かし、他事業所の職員や利用者とも元気に笑顔で会話ができるよう支援します。 集団活動を通してルールやマナーを守る事、他者との適切な距離が把握できるよう支援します。										
	家族支援				相談、その他の記 安解消のための		日常的に連携をて参ります。	移行支援	関とも連携を取り	図識を共有し、ご家族様の リながら支援します。多村 見学、仕事体験等につい ^っ	幾能型施設の特徴	カを活かし就労継┃
地域支援・地域連携			ブループ	との交流	ースでの行事、 企画等、幅広くI		加、見学。地域ルーシブの実現	職員の質の向上	加。日常的に働き	『講師を招いての内部研偵 ₹やすい職場環境の整備? ₹不満の解消に尽力いたし	を心掛け、個別面	
主な行事等		お花見・七夕・ハロウィン・クリスマス会 等(季節ごとのイベント)										